

# 革マル派と一体の「動労青年部」!

## 日刊 動労千葉

80.3.2  
No. 全刊版 47

国鉄千葉動力車労働組合  
千葉市要町二一八(動力車会館)  
(鉄電)二五八〇九(公衆電話)22七二〇七

**リムバック反対! 24横須賀集会を叩き抜く!**  
全国の動労組合員のみならず! 反安保全国実行委員会(社会党・総評)が主催する「リムバック反対・安保廃棄・自衛隊反対・24横須賀集会」は、全国から1万2千名の大結集をもって開催されました。動労千葉は、2・16リムバック反対千葉集会に引き続き、青年部を中心に各支部から巧名をもって参加し、反安保千葉県実行委員会と共に、デモの最前列に位置し闘いを貫徹しました。

### 終始戦闘的に闘い抜いた動労千葉

集会は反安保全国実行委員会・牟礼事務局長の「日本労働者階級の力をもって軍事大国化を許さず、80春闘・参院選と結合させた反戦闘争をまき起そう」との発言で始まり、飛鳥田社会党委員長からの主催者あいさつ、北海道、宮崎、沖縄各県代表からの闘争報告、さらに、リムバックに参加した自衛隊P2J対潜哨戒機の主力基地II神奈川県厚木で闘う厚木基地爆音防止期成同盟・鈴木委員長からの生々しい報告をうけてリムバック反対決議を採択しました。

そして、リムバックと連動し、3月1日より開始されようとしている米韓合同軍事演習「チームスピリット80」に沖縄基地から直接的に米軍が参加することに反対する特別決議が採択され、飛鳥田委員長の団結ガンバローをもって閉会。直ちにデモ行進に移りました。米海軍基地ゲート前をへてのデモ行進を、動労千葉は、デモの最先頭を担う千葉県隊の牽引車として機動隊の弾圧をはねのけ終始戦闘的に闘い抜きました。

### 労働運動に無縁な「動労青年部」の行動

全国の動労組合員のみならず!  
この日の集会において、「動労青年部」と革マル派部隊の「統一行動」の実態が、さらにエスカレートした形で、結集した全国の労働者の前に明らかにされました。

動労千葉が会場へ入ろうとした際に、機動隊が立ちふさがり「動労青年部と革マルがいるから、動労千葉は入場させない」という驚くべき言辞をもって入場を阻止したのです。しかし、動労千葉は「千葉県労連の参加要請によって参加する労働組合を、何の権限をもって妨害するのか」と迫り、検問と称する一人ひとりへの身体検査の弾圧を突破し入場しました。

さらに驚くべきことには、会場右隅に「動労」四〇〇名と革マル派部隊が「密着」した体形で集会に参加し、デモ行進においても「動労青年部」

と革マル派がデモ隊列の最後を10mも離れず共に行動していったのです。

### 正しい労働運動を共に闘おう!

動労は指令によって「親組合は横割り参加、青年部は立て割りで東京地評部隊として参加する」となっていました。しかし、実際には、集会においても、デモにおいても「動労青年部」は一度たりとも東京地評の隊列に加わることなく労働運動とは無縁なところで革マル派部隊の一翼を任せて行動したのです。

指令・指示や規約・規則(きめられたこと)を守らない「動労青年部」の実態、革マル派との「共闘」については、この間、動労千葉が正しく指摘してきた通り、関東青年部などでは日常的に行われていたわけですが、この「24横須賀」において、さらにエスカレートした形で現われてきています。

全国の動労組合員のみならず!  
この「本部」革マル反動分子の横暴を許さず、正しい労働運動を立ち立てるため、共に決起しようではありませんか。

